

1. 心筋梗塞等医療対策

(1) 関係機関と連携し、県民向け各種広報媒体を活用し広報活動を実施

広報日	広報媒体・方法	広報内容	協力団体
R3/9/12 R3/9/17 再放送 (2回) R3/9/22 Youtube 配信	RSK 「晴れの国生き生きテレビ」	・世界ハートの日(9/29)について ・第25回日本心不全学会学術集会 (10/1~3 岡山県開催)における「市民公開講座(WEB)」	日本循環器学会 日本心不全学会 岡山県
R3/9/22	RSK ラジオ対談 (収録)	・世界ハートの日(9/29)について	ASC Japan 岡山県
R3/9/6~10/31	県庁県民室へのチラシ設置 県内市町村・保健所へチラシ の配布	・日本心不全学会学術集会「市民 公開講座(WEB)」について 再生回数 662回	岡山県(後援)
R4/2/22	RSK ラジオ対談 (収録)	・第86回日本循環器学会学術集会 市民公開講座について	岡山県
R4/3/30~R4/6/30	県庁県民室へのチラシ設置 県内市町村・保健所へチラシ の配布	・日本循環器学会学術集会「市民 公開講座」について 再生回数 29,153回	日本循環器学会 岡山県(後援)

(2) 心不全医療連携パス 安心ハート手帳(心不全版)第2版への改訂

- ・改定内容: 心不全のステージ、新治療薬、心臓リハビリテーション実施可能施設、ACPについて

2. 大動脈緊急症対策

岡山県急性心筋梗塞等医療連携検討会議 大動脈解離に関する部会開催 (R3/11/8)

- ・岡山県大動脈緊急症診療体制を検討し、県内病院・心臓血管外科標榜診療所・循環器内科標榜診療所・関係団体・全消防本部へ通知にて周知を図った。
- ・救急隊員向けに大動脈緊急症の概要・疑い症例に関する研修会の開催を検討するよう意見があり、県救急搬送体制連絡協議会メディカルコントロールWGにて説明。地域MC単位から希望があれば、R4年度に研修会を開催することで合意形成が図られた。

〈 令和4年度 心血管対策に係る活動計画(案) 〉

1. 心筋梗塞等医療対策

広報活動(県民向け各種広報媒体へ応募予定)

- ・健康ハートの日(8/10): 8/10 RSK ラジオで、広報予定(1分20秒)
- ・世界ハートの日(9/29)
- ・その他

2. 大動脈緊急症対策

救急隊員のための大動脈緊急症対応力向上のための研修会の開催(県南東部・備中地区・美作地域)

- ・県南東部: 6/9 開催済 (講師) 岡山大学病院心臓血管外科 迫田医師
- ・備中・美作: 未定

令和3年11月8日

岡山県大動脈緊急症診療体制について

本県では、岡山県保健医療計画に基づき、大動脈解離に関する医療提供体制を整備することを目的とした、岡山県急性心筋梗塞等医療連携体制検討会議大動脈解離に関する部会を開催している。

令和3年度第1回の部会において、標記診療体制構築について協議を行った。

1 心臓血管外科標榜病院における大動脈緊急症診療体制に関するアンケート調査

令和3年9月16日～令和3年10月15日

心臓血管外科標榜病院の8病院及び岡山市消防局へ調査を実施

回答あり 7病院(未回答 1病院)、岡山市消防局

2 協議結果概要

○大動脈緊急症 拠点病院 5病院

(急性大動脈疾患の入院・手術を毎日24時間受入可能)

- ・心臓病センター 榊原病院
- ・岡山大学病院
- ・川崎医科大学附属病院
- ・倉敷中央病院
- ・津山中央病院

○大動脈緊急症 準拠点病院 2病院

(急性大動脈疾患の入院・手術を優先的に受入可能)

- ・川崎医科大学総合医療センター
- ・岡山医療センター

	拠点病院	準拠点病院
県南東部圏域	2	2
県南西部圏域	2	0
高梁・新見圏域	—	—
真庭圏域	—	—
津山・英田圏域	1	0
合計	5	2

岡山県急性心筋梗塞等医療連携体制検討会議 大動脈解離に関する部会

心臓血管外科標榜病院における大動脈緊急症診療体制に関するアンケート調査

令和3年9月16日～令和3年10月15日

心臓血管外科標榜病院の8病院及び岡山市消防局へ調査を実施

【結果概要】

●回答あり 7病院(未回答 1病院)、岡山市消防局

○大動脈緊急症 拠点病院 4病院

(急性大動脈疾患の入院・手術を毎日24時間受入可能)

- ・心臓病センター 榊原病院
- ・岡山大学病院 ←
- ・川崎医科大学附属病院
- ・倉敷中央病院
- ・津山中央病院(平日のみ)

○大動脈緊急症 準拠点病院 3病院

(急性大動脈疾患の入院・手術を優先的に受入可能)

- ・川崎医科大学総合医療センター
- ・岡山医療センター
- ・岡山大学病院

圏域	医療機関 調査対象	回答あり		未回答
		拠点病院	準拠点病院	
県南東部圏域	5	1	3	1
県南西部圏域	2	2	0	0
高梁・新見圏域	0	—	—	—
真庭圏域	0	—	—	—
津山・英田圏域	1	1	0	0
合計	8	4	3	1

	拠点病院	準拠点病院
県南東部圏域	2	2
県南西部圏域	2	0
高梁・新見圏域	—	—
真庭圏域	—	—
津山・英田圏域	1	0
合計	5	2

独立行政法人国立病院機構 岡山医療センター 院長 殿
岡山赤十字病院長 殿
国立大学法人岡山大学 岡山大学病院長 殿
川崎医科大学 総合医療センター 病院長 殿
社会医療法人社団十全会 心臓病センター榊原病院長 殿
学校法人川崎学園 川崎医科大学附属病院長 殿
公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院長 殿
一般財団法人津山慈風会 津山中央病院長 殿
岡山県消防長会長 殿

岡山県急性心筋梗塞等医療連携体制検討会議
大動脈解離に関する部会長
岡山県保健福祉部医療推進課長
(公 印 省 略)

「心臓血管外科標榜病院における大動脈緊急症診療体制」
に関するアンケート調査について（依頼）

保健医療行政の推進につきましては、平素より格別の御理解、御協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、本県では、岡山県保健医療計画に基づき、急性心筋梗塞等の急性期・回復期・在宅等における継続的な診療や服薬、運動等の生活指導など、患者が安心できる生活を支援するため、心筋梗塞医療等に関わる多職種協働による医療連携体制を整備することを目的として、岡山県急性心筋梗塞等医療連携体制検討会議を開催しています。

令和3年3月24日付け、医推第1610号にて、「岡山県大動脈緊急症診療体制について」通知したところですが、このたび、現行の診療体制について検証を行うため、本アンケートを実施することといたしました。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、御協力のほどよろしくお願いいたします。

記

- 1 調査様式 別紙のとおり
「心臓血管外科標榜病院における大動脈緊急症診療体制に関するアンケート調査」
- 2 回答期限 令和3年10月15日（金）
※FAXにて下記担当まで送付願います。

【お問い合わせ・ご提出先】
岡山県保健福祉部医療推進課
疾病対策推進班（担当：片山）
〒700-8570 岡山市北区内山下2-4-6
TEL：086-226-7321/FAX：086-224-2313

【FAX 送信先】

岡山県 医療推進課 疾病対策推進班 片山あて FAX 086-224-2313

令和3年3月24日付けにて、「岡山県大動脈緊急症診療体制について」をお示ししているところですが、この度、現行の診療体制について岡山県急性心筋梗塞等医療連携体制検討会議 大動脈解離に関する部会において検証を行うため、下記のアンケートを実施します。令和3年10月1日時点でご回答ください。

昨年度と同様部分は、こちらで昨年度ご回答いただいた内容を記載しておりますので、訂正がある場合は、二重線(=)で見え消しいただき、訂正をお願いします。

心臓血管外科標榜病院における大動脈緊急症診療体制に関するアンケート調査

現時点における拠点病院、 準拠点病院の位置づけ	該当するものに✓してください。 □拠点病院 □準拠点病院
医療機関名	
住所	
連絡先電話番号	
記入者	

- 1 令和3年3月24日付け、「岡山県大動脈緊急症診療体制について」をご存知ですか。該当するものに✓してください。

□はい □いいえ

- 2 上記「岡山県大動脈緊急症診療体制について」を使用して、令和3年9月30日までに患者を搬送・転送等したことがありますか。該当するものに✓してください。

□はい □いいえ

- 3 上記2で、「はい」とお答えいただいた医療機関の方に質問します。何例、搬送・転送等されたのか、お答えください。

_____ 例

- 4 心臓血管外科医数(外科後期研修は含まない、専門医の有無は問わない)

_____ 名

- 5 常勤当直の心臓血管外科医数

_____ 名

- 6 循環器内科医数(専門医は問わない)

_____ 名

7 常勤当直の循環器内科医数 _____ 名

8 心臓手術に特化した麻酔科医数 _____ 名

9 常勤当直の麻酔科医数 _____ 名

10 放射線科の医師数(専門医の有無は問わない) _____ 名

11 連日、オンコールの麻酔科医はいますか。該当するものに✓してください。
あり なし

12 臨床工学技士数 _____ 名

13 そのうち、人工心肺に関わることのできる臨床工学技士数 _____ 名

14 常勤当直臨床工学技士数 _____ 名

15 循環器に特化した集中治療室(CCU)の病床数 _____ 床

16 2020年(1月1日～12月31日)、2021年(1月1日～6月30日)までの大動脈緊急症(大動脈解離及び胸部・腹部大動脈破裂)の手術症例数を教えてください。加えて、内数として、急性大動脈解離の手術件数を教えてください。

	2020年 (1月1日～12月31日)	2021年 (1月1日～6月30日)
大動脈緊急症		
うち急性大動脈解離		

17 B型大動脈解離における緊急ステントグラフト治療を施行可能な「胸部ステントグラフト 2機種以上の指導医資格」をもった医師が在籍するか。
 該当するものに✓してください。

在籍 不在

18 令和3年10月1日時点において、大動脈緊急症診療においてどれを希望しますか？該当するものに✓してください。

- 大動脈緊急症**拠点病院**
(急性大動脈疾患の入院・手術を**毎日24時間受入可能**)
- 大動脈緊急症**準拠点病院**
(急性大動脈疾患の入院・手術を**優先的に受入可能**)
- いずれも希望しない

19 その他:要望等、特記すべきことがありましたら、ご記入ください。

以上です。
ご協力ありがとうございました。

【FAX 送信先】

岡山県 医療推進課 疾病対策推進班 片山あて FAX 086-224-2313

令和3年3月24日付けにて、「岡山県大動脈緊急症診療体制について」をお示ししているところですが、この度、現行の診療体制について岡山県急性心筋梗塞等医療連携体制検討会議 大動脈解離に関する部会において検証を行うため、下記のアンケートを実施します。令和3年10月1日時点でご回答ください。

岡山県消防長会における大動脈緊急症診療体制に関するアンケート調査

所属	
連絡先電話番号	
記入者	

- 1 令和3年3月24日付け、「岡山県大動脈緊急症診療体制について」をご存知ですか。該当するものに✓してください。

はい いいえ

- 2 上記1「岡山県大動脈緊急症診療体制について」を病院選定の参考にして、令和3年9月30日までに患者を搬送したことがありますか。該当するものに✓してください。

はい いいえ

- 3 上記2で「はい」と回答された消防本部(局)の方にお伺いします。
上記2と同じ期間において、大動脈緊急症の救急搬送は何例ありましたか。

例

- 4 上記2で「いいえ」と回答された消防本部(局)の方にお伺いします。
該当する症例がなかった場合以外で、「岡山県大動脈緊急症診療体制について」を病院選定の参考にしなかった(できなかった)理由をご記入ください。

- 5 その他:要望等、特記すべきことがありましたら、ご記入ください。

以上です。
ご協力ありがとうございました。